

前期終業式 & 後期始業式にあたって

10月11日(水)は、昼間定時制において前期と後期が入れ替わる日です。前期はいまひとつ満足いかなかったけど、後期は充実させたい!などと気持ちを切り替える良いきっかけにして欲しい日でもあります。

今から、二つのことを述べます。

一つ目は、「成年年齢引き下げ」についてです。昨年4月1日より、満20歳から満18歳へ「成年年齢の引き下げ」がありました。

何ができて、なにができないか知っていますか?ここで述べることは省略しますが、契約やクーリングオフ制度など、主に消費者教育の観点から注意すべき点が、名古屋市消費者生活センターのホームページやパンフレットで確認できます。また、「消費者教育」という観点での授業や講演会など、「賢い消費者」のための情報は巷に溢れています。一度確認してみてください。

成年の定義が見直されるのは約150年ぶりとのこと。国内外の社会情勢など、非現実性の時代(VUCAの時代)と呼ばれるほど社会全体が大きな節目にあると言えます。

多くの人が在学中に成年年齢に達することになるわけですが、そのような大きな節目に「中央高校で学ぶ」ということはどういうことでしょうか。覚えておいて欲しいのは、成年年齢の引き下げ、つまり18歳になってできることや注意する事柄は、消費者問題に限ったことではないということです。「飲酒や喫煙はできない。」など、従来の成年年齢(20歳)に達したらできたことにも制限があるということです。これは、18歳になっても、健康面の影響や非行防止、青少年保護の観点から定められています。加えて、中央高校で学ぶということは、校則も守る義務があるということです。つまり、20歳になっても「飲酒や喫煙はできない。」ということです。がんじがらめの窮屈な生活を思い浮かべる人もいますが、中央高校は自分のペースで学校が送れるなど、皆さんにとって過ごしやすい自由な環境が整っています。ですが、何をしても構わないことが自由ではありません。自由には大きな「責任」を伴うことを理解してください。

二つ目は、本日1・2限に履修登録説明会が行われましたが、普段より真剣に将来の進路について考えるきっかけになりましたか?自分自身の将来のために何を学習すれば良いかよく考えてください。

進路の手引にも書きましたが、皆さんは高校を卒業するとき、「働くか、学び続けるか」の選択をすることになります。卒業後、就職しようと考えている人は否応なしにどの職業に就くかを、進学しようと考えている人も将来どの職業に就きたいかをあらかじめ考えておくことが必要になります。

さて、今から8年前(2015年)に、英オックスフォード大のマイケル・オズボーン教授が大胆な予測を発表しました。

「10~20年後に、国内労働者の約49%の職業が、人工知能(AI)やロボットで代替可能になる。」

当時、大きな話題となって、マスコミを始めいろいろな所で取り上げられたので、目にした方も多いと思います。現在では、対話型AI-ChatGPT-の進化が予想以上に早く、世界中で是々非々の議論が続いています。

「人工知能（AI）やロボット等により代替される可能性が高い職業」のリストは、2015年から大きく変わったということはありません。新技術により、代替可能な職業は淘汰され、今はない新たな職業がどんどん生まれてくると考えられます。

逆に、仕事内容が就職当初からずっと変わらないという人は、就く仕事そのものが減っていくことが容易に予想されます。

つまるところ、新しいもの、コトを創造する「create（クリエイト）」する力を養うことが、今後は必要となってくると考えられます。

そんな状況の中、「履修登録」をどのように考えるべきでしょうか。

まずは、自分がやりたいこと、興味があることを何よりも大切に考えましょう。まだ見つけていないという人は、それを見つけることから始めてください。皆さんが、今できることは、自分のやりたいことや興味があることを確認しながら、幅広く学んでおくことです。そうすることによって、視野や可能性が広がり、今まで気付かなかった能力が開花することもあります。将来の変化に対して柔軟に対応できることにもつながるでしょう。

中央高校のカリキュラムは、皆さんの「好きなこと」「興味あること」「夢」に近づくシステムを有しています。スタッフや周りの人に相談したり、自分の頭の中で思いを巡らしたりして、じっくり時間をかけて将来について考えて欲しいと思います。そして、自ら作成したカリキュラムによる本校の「学び」により、自分自身にフィットした最適な進路選択、及び望ましい方向性を見いだすことを願っています。

それでは、皆さんが後期も充実した学校生活を送れることを祈念して、前期終業式 & 後期始業式の校長講話とします。